

「韓国情報発信力強化事業」の取り組みについて

実施期間 平成21年度～22年度

実施概要

(1) 現 状

- 人口減少が続く本県にとって、交流人口の拡大が本県経済活性化の鍵
- 観光客が最も多い韓国からの誘致を引き続き行い安定した受け入れ維持・増加も重要
- 円高・ウォン安、韓国経済の悪化などにより韓国人観光客が減少
- 今新たな展開を仕掛けなければ、観光客の減少に歯止めがかからず、交流人口拡大の効果的なツールである青森・ソウル線が危機的状況（減便・運休）となる可能性が大きい

(2) 課 題

- 競争力ある観光資源があるが、効果的に情報発信する仕掛けが弱く、韓国で本県はほとんど知られていない
- 青森商品内容のマンネリ化

(3) ベンチャー事業の実施

①韓国での青森知名度、認知度アップのための取り組み

- ・ 韓国のテレビ・新聞・雑誌での情報発信
(2/9 現在：テレビ6件、新聞・雑誌27件が取材・発信)
- ・ 韓国向けブログでの青森情報発信 (韓国企業に委託し作成)
A-STORY TELLS (<http://www.aomori.or.kr>)
(2/9 現在：312コンテンツ、アクセス件数411,911件)
- ・ 青森のPRキットとして動画DVDの作成 (韓国人専門家が監修)

②青森旅行商品支援・・・五所川原、弘前、八甲田など新たな旅行商品造成を支援

③韓国人専門家による青森県内観光地等の評価・検証 等

- ・・・事業者の意識変化、積極的に受け入れる方向へ

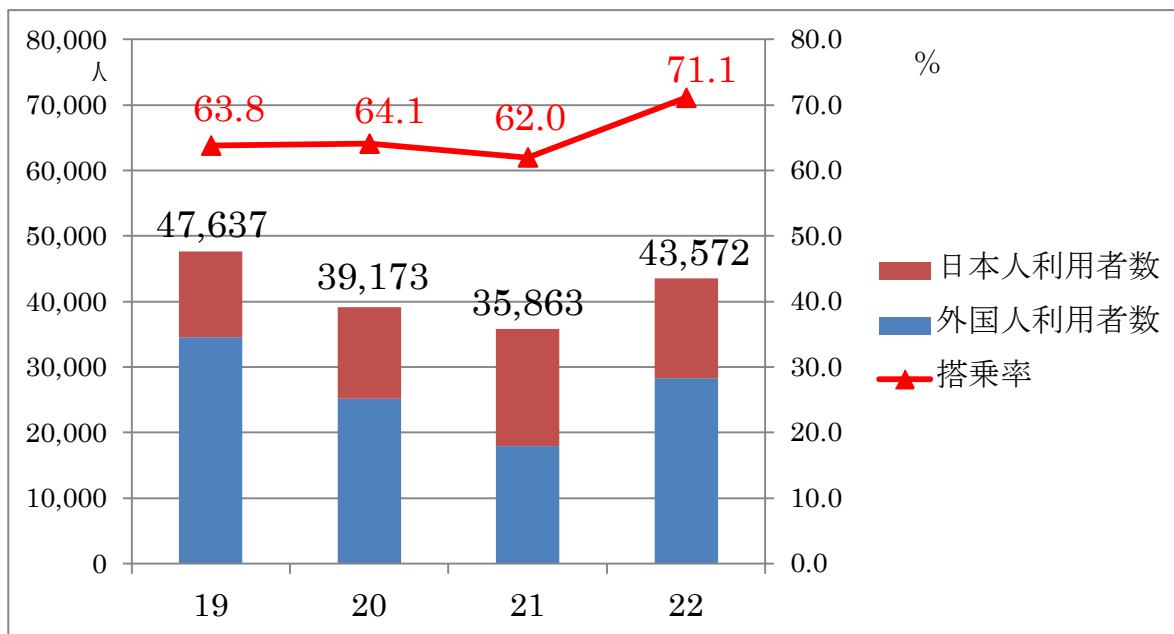
④青森県からの旅行者増加対策 (アウトバウンド対策)

※極度のウォン安のため青森からの旅行者の掘り起こしも行う

- ・ テレビでの韓国情報発信 (ATV「トコトン韓国～私の韓国旅行篇～」
(一般県民レポーターが韓国の魅力を伝える)
- ・ ブログでの韓国情報発信
「ソウルの達人」への道 (<http://seoulxpert.blog85.fc2.com>)
- ・ その他 (伝統舞踊団の招聘、韓国人俳優イ・ソジン氏一日知事で韓国を身近に)

ポイントは、
韓国人視点の徹底

参考 青森—ソウル線の状況



- ・平成22年について、搭乗率は過去最高、利用者数は平成19年に次ぐ水準
 - ・運航スケジュールについて、現在週4便運航中、平成23年夏期スケジュールでも週4便維持決定
- また、機材を大型化し運航中（147席→187席）